

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 令和元年 6月 5日

仕事の内容	ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業		
担当部署・課長名	子育て支援部子育て支援課	課 ひとり親・女性相談 係	課長名 鈴木 礼子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 4 -
【施策名】 児童福祉の推進	総合計画書(ページ)	59

予算名	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	目 5 母子福祉費	事業 6 ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業
-----	---------	-----------	-----------	-------------------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 一時的に生活援助、育児等の支援を必要とする児童のいるひとり親家庭及び保護者の就業の事情により生活援助、育児等の支援を必要とするひとり親家庭で一定の要件に該当する方。	① ①の対象数や量を、あらゆるもの(対象指標) 要件に該当するひとり親家庭
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ヘルパー派遣により家事や育児の負担が解消され、ひとり親家庭の生活や就業が安定する。	② ②の状態になった数・量をあらゆるもの(成果指標) ホームヘルプサービス利用家庭数/支援を必要とするひとり親家庭
	③ そのために何をしましたか。 ホームヘルプサービス利用希望者の相談に応じ、ヘルパーのコーディネートを行い、委託先に派遣を依頼する。派遣が必要な日時の連絡や調整、円滑な実施に向けた相談を行う。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ヘルパー派遣実績 延べ 124回

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	世帯	不明	不明	不明	
	成果指標	②の数値	%	不明	不明	不明	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方	成果指標が不明なため、設定不能				
	活動指標	③の数値	回	0	0	124	

3 経費	事業費(実績)		円	0	0	300,640	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	0	0	0	
		特定財源	円	0	0	300,640	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.2	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
事業費+人件費		円	826,700	825,300	1,949,440		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 母子及び寡婦福祉法第17条に基づく母子家庭日常生活支援事業として、昭和58年1月1日から開始。平成20年8月29日からは「就業による自立支援」を対象とした新たな制度も開始。ひとり親家庭の生活の安定と向上を目的とする。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 就業による自立支援を目的としたホームヘルプサービスについて、対象者が義務教育終了前の児童のいるひとり親家庭とされていたが、「義務教育終了前」という規定が削除された。平成29年度から、一時的な生活援助が必要な場合等についても「義務教育終了前」が「20歳に満たない」に改正された。

仕 事 の 内 容	ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業		
担当部署・課長名	子育て支援部子育て支援課	課 ひとり親・女性相談	係 課長名 鈴木 礼子

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	問い合わせがあったうち、利用に結び付かなかった例として、サービスが希望と合致しない、急な相談により希望日までに期間がない等の理由により、当該制度の利用には至らなかったものがあるが、他制度を紹介し、対応した。

6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取組みは無い	取組手法
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容
	急な相談の場合、委託先の社会福祉協議会の登録ヘルパーを派遣希望日に確保することが困難なことがあるので、計画的な利用が必要となっている。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
	ヘルパー利用の問い合わせには、事前相談を早めに行うよう伝えている。
(3)(2)を踏まえた今後の課題	
ヘルパー利用の問い合わせには、事前相談を早めに行うよう伝えていく。	

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）		
	社会福祉協議会との連携調整を密に行い、対応に努める。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	社会福祉協議会との連絡調整。		
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。